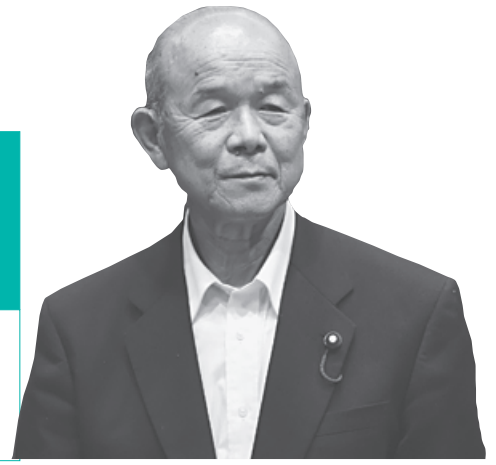


質問

雇用促進助成金で出合いを

町長 実施は難しいと判断している



糸原 壽之 議員



出合いあふれるまち 奥出雲町に

質問 少子化対策として、その基となる男女の出合いの機会をつくるため、事業所に新たな助成金を交付されたい。
 そしてその制度を10年間は続けることとして、10年間の債務負担行為議決を行い、若者の雇用の場、出合いの場の創出を積極的に進められたい。

町長 雇用促進応援制度については、10年間は続けるという提案であり、助成事業実施後の適正な補助金執行の管理上、補助対象者の経過状況把握、また事業者自体との関係もあり、難しいと判断する。

質問 先ごろ「あめつち」の試乗会があり、乗車されたが、その感想は。

町長 車窓からの眺めは棚田などが見られ、良い印象であつた。

あめつち試乗の感想は

た。車内での食事も、沿線の名産物が使っており、満足した。アンケートでは、車内サービス、子供たちの出迎えなど高い評価であつた。
 地元として、横田高校の吹奏楽部の歓迎やお土産、物販も出されて、良い雰囲気があり、今後一層地域が一体となつて強化していきたい。

木次線芸備線の取り組みは

質問 去る4月24日奥出雲町役場において、木次線、芸備線沿線市町議会の、活用促進議員連盟の役員が集まり、廃止阻止に向けての、情報交換を行った。

見交換がされたが、今後、行政では、どのような取り組みをされるか。

町長 広島県側の芸備線対策協議会や原市芸備線・木次線活用促進協議会とも情報共有の場を取りながら、進めていく。

会議では、木次線、芸備線を繋いだ企画を行うべき、一般乗車もだがもっと観光利用を推進すべき、存続にむけてもっと地域住民とのコミュニケーションを図る、テーマを一つにして取り組む。などの意



木次線と芸備線の接点 備後落合駅